

2025年度 大学院入試問題 デザイン B

二次試験 専攻内小論文

試験時間：2024年11月10日（日）
13：00-14：30

課題

下記の課題文は、文芸批評家の江藤淳による「シチュアシオンの感覚」という文章で、『小林秀雄の眼』（中央公論新社）に収録されているものです。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

この文章は、文芸批評家の小林秀雄の『考えるヒント』（新潮社）へのコメントとして書かれています。適宜、参考にしなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみ記載しています。

*シチュアシオンは、英語のシチュエーション（状況）に当たるフランス語。文中の「シチュアシオン」は、哲学者ジャン＝ポール・サルトルの10巻にわたる時評集に由来する。

問題：

解答者が独自に作品を二つ選び、「医者視点」と「患者視点」の両方から論じます。以下の順序で、取り組みなさい。

- ①取り扱う二種類の作品について、基本情報（作者や作品形態、内容、素材など）を説明しなさい。デザインや美術の作品に限定する必要はありませんし、有名な作品に限定する必要もありません。
- ②医者視点で作られた作品と、患者視点で作られた作品を対比的に論じてください。必ずしも、好意的に論じる必要はありません。

なお、解答は、支給された解答用紙（表裏）に書くこと。